

令和7年度第1回狭山市廃棄物減量等推進審議会会議録

開催日時 令和7年10月1日（水） 午前10時から午前11時10分

開催場所 奥富環境センター リサイクルプラザ4階 会議室

出席者 新倉委員、小川委員、岡村委員、小暮委員、嶋村委員、下村委員、鍋谷委員、奥本委員、高橋委員、立川委員、鈴木委員、田中委員、以上 12名

欠席者 阿部委員、大澤委員、川内委員

事務局 久保田環境経済部長、武井環境経済部次長、當麻資源循環推進課長、小巖奥富環境センター所長兼稲荷山環境センター所長兼浄化センター所長、青柳奥富環境センター副所長、久保田稲荷山環境センター副所長、奥富環境センター 中出主幹
資源循環推進課 山崎主幹、寺原主任、門田主事補

傍聴者 な し

1 開 会

2 あいさつ（議長）

3 議 題

（1）狭山市の清掃行政の概要について（資料）

事務局 資料の説明（廃棄物の概念、廃棄物の処理に関する計画、廃棄物の処理フロー、令和6年度ごみ排出量、目標及び実績、ごみ処理経費）

〔質疑応答〕

委 員 4番ごみ排出量について、生ごみが令和5年度と比較し、8.2%減少したと良い評価として挙がっているが、生ごみは生ごみリサイクル事業として収集した量であり、この減少は寧ろリサイクル出来るものをもやすごみにしてしまっていることになるのではないか。

生ごみリサイクル事業について広報などでもっとPRしていただき、参加者が増えればもやすごみの量はもっと削減できるのではないか。

事務局 令和5年度よりも減少しているということは我々としても本意ではない。水分を多く含む生ごみは、もやすごみとして焼却されることで、焼却施設に負担がかかり、修繕費等も余計にかかってしまう。

生ごみリサイクル事業に関しては、人口の減少もある中で、参加者を多く増やすことは中々難しいところではあるが、様々なものを活用してPRしていきたい。

なお、直近では今月開催される商工祭にてブースを設置し、事業によってできた一次生成品の配布による啓発活動を予定している。

委員 4番ごみ排出量について、全体的に減ってはいることは分かるが、人口が減少すればごみも当然減ると思われる。一人当たりのごみの量でも比較してもらえるとより分かりやすいかと思う。

事務局 一人当たりのごみ排出量については、5番の表内で家庭系ごみの総量で比較しており、一人当たり一日で1gと微量ながら減少していることがわかる。これは単に人口減少でごみが減っただけでなく、皆さんの取り組みによるものであると読み取れる。

委員 最近はマンションなどの集合住宅も増えてきたと思うが、住んでいる人たちによると、生ごみリサイクル事業のバケツを使用した収集方法はマンション居住者には難しいという。マンション居住者等には、生ごみの分別についてどう推進していくか。

事務局 マンションについては他の集積所と少し違う運営方法の場所が多く、バケツを使用して排出する生ごみリサイクル事業とはあまり相性が良くない。今後はバケツを使用したやり方が最適か否かを含め、生ごみリサイクル事業の在り方について長期的にはなるが、検討していく必要がある。

委員 狭山市では、プラスチックについて、容器包装プラ、製品プラ、汚れのついたプラなどは、どう分別されているか。

事務局 狭山市は以前より、容器包装プラも製品プラも収集しており、リサイクルしている。汚れのついたプラについては可能な限り洗って出してもらうが、汚れが落ちないものについてはもやすごみとして出すよう周知している。

委員 一昨年までは、スプレー缶は穴を開けて出すよう案内されていたが、穴を開けなくてもよくなったのは何故か。

事務局 従来は塵芥車で収集していたため、圧力がかかることによる爆発等の危険性があったが、現在はびん・缶を収集している平積みトラックでの収集に変更したことで、収集運搬時における危険性に加え、排出者による穴あけ作業時の危険性も低減できるため。

(2) 狭山市一般廃棄物処理基本計画の改定について (資料)

事務局 資料の説明 (計画改定の趣旨、現行の狭山市一般廃棄物処理基本計画について、計画の検討と見直しについて、スケジュールについて)

〔質疑応答〕 質問なし

(3) 一般廃棄物処理手数料の改定及び時期について (資料)

事務局 資料の説明 (改定が必要な理由、改定時期 (予定)、方向性、スケジュール、手数料改定対象)

〔質疑応答〕

委 員 スケジュールでは令和7年10月から令和8年1月にかけて、見直し調査を実施することになっているが、見直し調査とはどういったものか。

事務局 昨今の物価高や人件費の高騰に対し、現行の料金が妥当かどうかの見直しが必要。また、粗大ごみの収集方法も含め、料金設定の参考にするため、他市への聞き取り調査等も併せて行う予定である。

4 その他 議題なし

〔質疑応答〕

委 員 テレビなどで、モバイルバッテリー、リチウムイオン電池に起因する事故が多いと良く目にするが、狭山市ではどうか。

事務局 狭山市では令和7年4月より、小型電化製品をもやさないごみと分別し、びん・缶と同じ平積みのトラックで収集することで圧力を極力かけないようにしている。また、リチウムイオン電池等は家電から取り外せるものについては可能な限り外し、電池としてひとまとめにして出すよう周知している。今後とも事故防止のため周知徹底していく。

5 閉 会

配布資料

- ・令和7年度第1回 狭山市廃棄物減量等推進審議会 次第
- ・資料1 狭山市の清掃行政の概要について
- ・資料2 狭山市一般廃棄物処理基本計画の改定について
- ・資料3 一般廃棄物処理手数料の改定及び時期について
- ・資料4 スケジュール等
- ・狭山市廃棄物減量等推進審議会委員・担当職員名簿